

ご意見・ご質問コーナーに寄せられたご意見ご質問
(期間：～平成23年6月30日)

- これまでに寄せられたご質問に対する回答 2～7ページ
- 平成23年6月16日から6月30日までに寄せられたご意見ご質問 8～15ページ

言葉の定義について

○年 齢 : 61歳～65歳

○性 別 : 男性

○職 業 : その他の業種

○都道府県名: 愛媛県

○ご質問の内容:

福島原発の放射線量の問題について、枝野官房長官が「直ちに健康に影響が出るものではない」との内容の発言をされています。

このよく使われる”直ちに健康に影響…”の定義についてお尋ねいたします。

どのようなことを指しいうのか素人の国民に解る言葉でお答えください。

この場合は放射線量及びその核種ごとにお答え願えればありがたいと思います。

よろしく願いいたします。

○回 答:

「大気中の放射性物質は、地表面や建物などに沈着して、環境中にとどまることがあります。この場合、放射性物質の沈着した飲料水や農作物を摂取することにより、放射性物質を体内に取り込む場合があります。放射線に被ばくすると健康に影響を及ぼすことがありますが、その影響の有無と種類は被ばくした量で違います。長期的な影響として、被ばくした放射線量が高いほど数年後から数十年後にがんになる危険性が高まると考えられています。

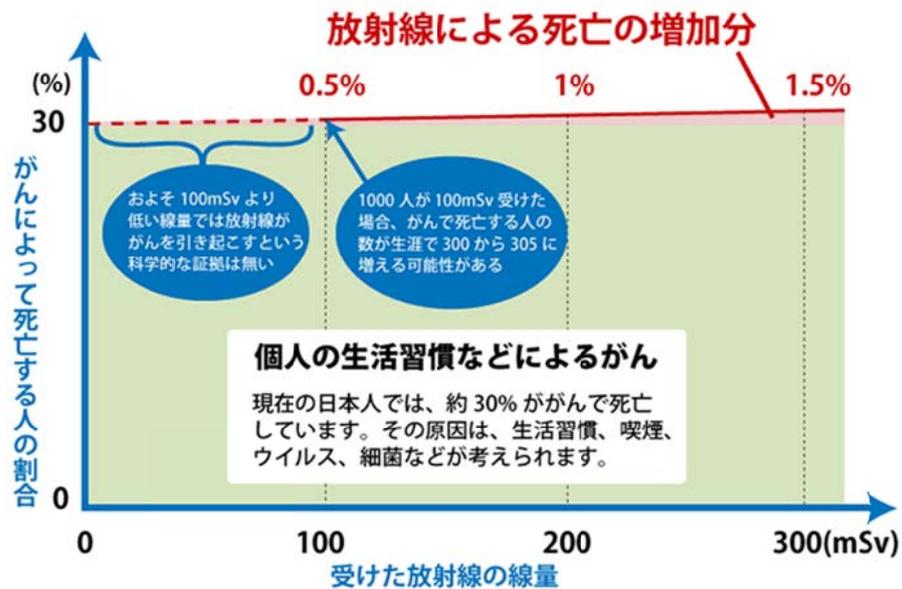
下の図をごらんください。被ばくした放射線量が、例えばおよそ 100 ミリシーベルト未満では、放射線ががんを引き起こすという科学的な証拠

はありません。また 100 ミリシーベルトの放射線量では、わずかにがん
で死亡する人の割合を高めると考えられています。日本人は元々約
30%ががんで亡くなっています。仮に 1000 名の方が 100 ミリシーベルト
の被ばくを受けたとすると、がんで亡くなる方が 300 名から 305 名に増
加する可能性があります。

放射線による影響は、喫煙や食事などの生活習慣を原因とするがん
の危険性の数十分の一と言う低い値で、過度に心配する必要はありま
せん。さらに、原子力発電所周辺の避難地域以外では、普通に生活を
している限り 100 ミリシーベルトを超えることは無いと考えられ、普段ど
おりの生活をしていただいても何ら問題ははありません。」(放射線医学総
合研究所ホームページより)

<http://www.nirs.go.jp/information/info.php?i13>

放射線によるがん・白血病の増加



児童生徒の年間被曝許容量を20msVとした件について

○年 齢 : 46歳～50歳

○性 別 : 女性

○職 業 : 主婦

○都道府県名 : 千葉県

○ご質問の内容:

10日の新聞報道によると文部科学省が児童生徒の年間被ばく許容量を20msVに引き上げたとありますが、どうしてでしょうか。

<http://www.yomiuri.co.jp/national/news/20110406-OYT1T00971.html>

上記の記事では、内閣府の原子力安全委員会は6日、東電福島第一原発から20～30キロ・メートル圏内や30キロ・メートル以遠でも、放射線量の積算値が20ミリ・シーベルト程度に達する可能性が出た場合に、避難地域とすることが望ましいとする見解を示した」とありますから、矛盾しませんか。

避難地域に指定されるのと匹敵するほど危険な値を子どもの遊ぶ校庭の上限に指定するのは、納得がいきません。

それほど数値が高ければ、子どもたちを避難させるべきなのではないでしょうか。

国の政策にとっても不安を感じます。

根拠をお示してください。

○回 答:

平成23年4月19日に、「福島県内の学校等の校舎・校庭等の利用判断における暫定的考え方について」を示し、年間1から20ミリシーベルトを学校の校舎・校庭等の利用判断における暫定的目安とし、今後できる限り、児童生徒等が受ける線量を減らしていくことが適切であると

しています。なお、「暫定的考え方」は学校の校舎、校庭の利用の判断基準となる考え方であり、「年間 20 ミリシーベルトまで放射線を受けてよい」という基準ではありません。

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/04/1305174.htm

また、平成 23 年 5 月 27 日に、「福島県内における児童生徒等が学校等において受ける線量低減に向けた当面の対応について」を示し「暫定的考え方で示した年間 1 ミリシーベルトから 20 ミリシーベルトを目安とし、今後できる限り、児童生徒等の受ける線量を減らしていくという基本に立って、今年度、学校において児童生徒等が受ける線量について、当面、年間 1 ミリシーベルト以下を目指す」こととしています。

http://www.mext.go.jp/a_menu/saigajohou/syousai/1306590.htm

高速増殖炉もんじゅの修理日程について

○年 齢 : 51歳～55歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 学生

○都道府県名 : 群馬県

○ご質問の内容:

高速増殖炉もんじゅの炉内中継装置が落下して、現在修理作業の準備中です。今回の修理作業は、中継装置をスリーブごと引き抜き、交換するという非常に難易度の高い修理作業になると聞いております。

実際に中継装置を交換する作業は、何月何日に行うのでしょうか？教えていただくと幸いです。個人的には、福島第一原子力発電所の復旧を第一にして、もんじゅの修理作業は落ち着いてからを望んでおります。よろしく申し上げます。

○回 答:

日本原子力研究開発機構は、平成 23 年 5 月 24 日から、炉内中継装置の引き抜き準備作業を開始し、6 月 23 日～24 日にかけて、炉内中継装置の引き抜き作業を行いました。

進捗状況や作業工程については以下の URL をご参照ください。

<http://www.jaea.go.jp/04/turuga/jturuga/press/topic.html>

http://www.jaea.go.jp/04/turuga/monju_site/pdf/koutei.pdf

内閣府原子力委員会「国民の皆様からのご意見募集について」の使われかた

○年 齢 : 31歳～35歳

○性 別 : 女性

○職 業 : 主婦

○都道府県名 : 東京都

○ご質問の内容:

内閣府原子力委員会「国民の皆様からのご意見募集について」は、福島原発の事故後、急ピッチで意見が寄せられており、そこには“知識はないけれど、とても不安で切実な声”がたくさんです。

私も意見を出させていただきましたが、無期限ということもあり、どのように活用されているのか、集めっぱなしでまとめも受け止めもしていないのではないかという不安があります。

◆どれくらい集まったか

◆意見は、どのようにエスカレーションされているのか

◆施策上どのように活用されたか

ex.新大綱策定会議の議論は当面中断⇒意見の中で、不安なものが多いことが、拡大路線の大綱を進めることのストップになった

以上お手数ですがよろしくお願い致します

○回 答:

「国民の皆様からのご意見募集について」は、平成22年12月21日から平成23年6月22日までの間に、9,765件のご意見が寄せられています。このうち、9,697件が平成23年3月11日以降に寄せられたものです。

いただいたご意見については、原子力委員会定例会議に定期的に報告し、国民に公開しています。また、現在、新大綱策定会議における審議は中断しておりますが、審議再開後の議論の参考として扱わせていただきます。

原子力白書等についてお尋ね

○年 齢 : 71歳～75歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名: 千葉県

○ご質問の内容:

2点お尋ねいたします。

(1) 毎年春に発行されている白書が今年はまだ未発行のようですが、いつごろ刊行されますか？

(2) 原子力廃棄物の種類別の最新のデータを知りたいのですが、どこにその資料はあるのでしょうか。ご教示ください。

以上よろしく お願いいたします。

避難

○年 齢 : 41歳～45歳

○性 別 : 女性

○職 業 : 主婦

○都道府県名:福島県

○ご質問の内容:

何をもって、安全といいきるのですか？

保障金を出したくないからですか？

放射能は、積算です。どんどん積算されています。

爆発してからいままでの、チャラですか？

自分たちの子供、孫を、住まわせてください。

郡山市は、被爆するだけで、保障はないは、税金は払え、ひどくないですか？

本当に、安全と思って発言してるのですか？

良心はありますか？

すべての原発を廃炉に

○年 齢 : 61歳～65歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名: 富山県

○ご意見の内容:

すべての原発を廃炉に。

福島第一原発、一号炉は水素爆発の以前から中央制御室の放射線濃度に上昇がみられた。それは、水素爆発以前の地震動によって重要な配管などの亀裂、破断などを疑わせるに十分である。津波の来襲以前の地震動で保守電源用の鉄塔の倒壊もみられる。女川、東海第二、東通などにも似たような被害がある。

したがって、津波による電源喪失対策だけで事足りるとするのは早計であり、地震動そのものに対する、従来からの安全基準そのものが甘かったとみるのが妥当であろう。津波のみではなく、福島第一原発の事故原因をきちんと解明し、地震動に対する基本的な安全基準を見直し、そのあたらしい安全基準に適合しているか確認できるまで、すべての原発は停止すべきではないのか。

原発は事故が起これなくとも数百万年以上にわたって自然環境への漏えい防止が必要な、膨大な使用済み核燃料などの放射性廃棄物を出し続ける。そのような放射性廃棄物を次代に負わせることなく、今、我々の時代に無害化できる技術の確立と、事故や故障の際に放射性物質のそばによって修理できる技術の確立ができるまでは原発は作ってはならない。

原発汚染水の処理案

○年 齢 : 61歳～65歳

○性 別 : 男性

○職 業 : その他

○都道府県名:愛知県

○ご意見の内容:

(1)汚染水の電気分解はできないのですか？

(2)一時保管場所としてタンカー(船)は利用できないのですか？

以上ご提案申し上げます。

原発再開の条件

○年 齢 : 51歳～55歳

○性 別 : 男性

○職 業 : その他

○都道府県名 : 愛知県

○ご意見の内容:

原発再開の条件

原発再開を菅首相・海江田経産相が表明しましたが、既存原発の電源喪失対策・耐震性・津波対策・活断層対策を行うと共に、万が一の原発事故の時の放射線除染・除染で出た土や物の処分場を何処にしてコスト負担は、どうなる成るのが決まっています。

特に、原発推進の経産省と原発規制の原子力安全保安院が同じ経産省では、原発事故の責任が取れないのは、国際原子力委員会からも指摘されていますが、改善されていません。

既存原発の再開には、電源喪失対策・耐震性・津波対策・活断層対策・放射線除染・放射線除染の土や物の処分場とコスト負担・原子力安全保安院の経産省から公正中立な機関への独立が出来てからにして下さい。

福島原発の処理について

○年 齢 : 26歳～30歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名: 神奈川県

○ご意見の内容:

福島原発の構内にカメラをいれるのには5年もかかるそうです。
がれき処理には10年以上かかる。
高濃度汚染物質、セシウムの廃棄には福島県内でやるしかないとのこと。
このようなことに目をそむけずに、逆に雇用を生み出す方策を考えてほしい。
逃げるな。

電力行政

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名: 富山県

○ご意見の内容:

東電のニュースを見ていて、人的ミスが多過ぎます。企業として解体した方がよい。

どのニュースを見ても、企業として必要なマネジメント能力が欠如しており、国民の命にかかわる安全を守る能力はもはやないからです。

(削除)

※〈個人情報の保護その他について〉の考え方に基づき

一部を伏せさせていただきました。

もんじゅ及び常陽の廃炉

○年 齢 : 31歳～35歳

○性 別 : 女性

○職 業 : 主婦

○都道府県名: 栃木県

○ご意見の内容:

高速増殖炉であるもんじゅ及び常陽の廃炉を要望します。

いずれも、地震活動が懸念される土地に存在し、福島第一原発のような「想定外」とよばれる天災が起きた際は、その影響は計りしれません。今回の福島の事故でもわかったように、原子力災害は人の手では負えないのが実情です。ましてや、両施設は非常に大きな破壊力を持つと理解しております。また、維持費だけでも膨大な金額と聞き及びます。

両施設を今後も稼働して行くことは、国民に将来の不安を与え、子どもたちに負の遺産を負わせていくと考えます。

原子力政策は、いつも国民不在の中、進められてしまい、非常に遺憾に思います。

「経済活動上、必要」といわれても、国民の安全で安心した生活を日本国憲法の下に保障できなければ、意味がないと考えます。

他国でも高速増殖炉は断念した経緯には意味があると思います。どうか、国民の生命を守るべく、両施設は直ちに廃炉宣言していただきたく、お願い申し上げます。

また、ひいては、原子力発電から自然エネルギーや省エネルギーへのエネルギー変換の下に、脱原発にむけた政策をお願い申し上げます。